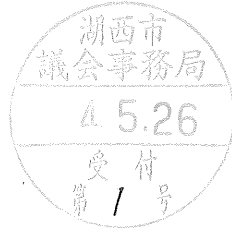


# 一 般 質 問 通 告 書



令和4年5月26日

前  
午9時30分 受付  
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和4年5月26日

湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 二橋 登良<sup>印</sup>  
(署名又は記名押印)

質問方式 (○を付ける)	主 題
<input checked="" type="radio"/>	一問一答・一括の質問答弁
1	老人クラブの活性化について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	老人クラブの活性化について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>高齢化や核家族化、地域や家族などに対する考え方の変化など地域社会は、大きく変貌してきています。このような中で、老人クラブ（湖西市での愛称「いきいきクラブ」）は、「自らの生活を豊かにする楽しい活動」を中心としたクラブから、高齢者の持っている知識・経験を活かした「地域を豊かにする社会活動」や「福祉社会形成の担い手」としての活動にも積極的に取り込むことを目指しており、老人クラブ（いきいきクラブ）活動は、医療費や介護費の抑制に大きく貢献していると推測されます。健康づくりや介護予防活動の意味においても地域社会における果たすべき役割とその可能性について検討すべきと考えます。しかし、湖西市老人クラブ連合会全体としても「加入率の低下」と、「新規対象者の確保が難しい」という現況をとらえると、組織の持続すらままならない状況と思います。地域の安全・安心を守る意味においても従来の活動自体の見直しを図り、やりがいのある老人クラブ（いきいきクラブ）活動へと転換していくためにも行政の後押しが必要であり、市の事業消化のみならずクラブの自主性をも増進させなければならないと思います。老人クラブ（いきいきクラブ）の実態調査と可能性を検討するべくお願いをいたします。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>老人クラブの実態調査と可能性を求め、活性化施策をお聞きします。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 老人クラブ活動のあるべき姿は、どのようにお考えか。</li> <li>2. 加入率の低下や会員の年齢格差を含め、市として、現状の課題をどのように認識しているか。</li> </ol>	

3. 老人クラブの活性化のためには活動内容や年齢に応じた部会の設置が必要と考えるが、いかがか。
4. 老人クラブは、地域住民の見守り活動や、地域の相談窓口、居場所づくりの提供といった「地域を豊かにする社会活動」の充実や「福祉社会形成の担い手」になることが期待されるが、これに対する行政の支援や関わりについて伺う。
5. 地域に合った、各クラブとしての自主性をどのように考えているか。
6. 課題把握のためには、老人クラブ全体の実態調査が必要であると考ええる。まずは、モデル地区を設定し、実態調査を試行する取組も必要であると考ええるが、いかがか。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

# 一 般 質 問 通 告 書



令和4年 5月 26日  
前  
午 9 時 45 分 受付  
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和4年 5月 26日

湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 **橋浩幸** 印  
(署名又は記名押印)

質問方式 (○を付ける)	一問一答 ・ 一括の質問答弁
番号	主 題
1	湖西版カーボンニュートラルの実現について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	湖西版カーボンニュートラルの実現について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>昨年7月湖西市がゼロカーボンシティ宣言を行って1年が経過しようとしている。また本年4月にはプラスチック資源循環法が施行され、循環型社会形成推進の機運が高まっている。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>第3次湖西市環境基本計画の進捗を確認するとともに、湖西市のカーボンニュートラルの実現に向けた施策を加速させるべく行政としてイニシアティブを期待する。</p> <p>(質問事項)</p> <p>1. 2030年度の温室効果ガス排出量を国は2013年度比46%削減を目標とし、県は「ふじのくにエネルギー総合戦略」において2013年度比46.6%削減を目標に掲げている。湖西市における目標設定についての考え方を伺う。</p> <p>2. 再生可能エネルギー比率目標について、太陽光発電が基軸と考えるが、天候や夜間に発電が出来ないなど不安定要素が多い。畜産糞尿や下水処理汚泥から発生するメタンガスを活用したバイオマス発電について湖西市の考えを伺う。</p> <p>3. 先進自治体では「カーボンクレジット」について独自のしくみを構築し、推進しているが湖西市の考えを伺う。</p> <p>4. プラスチックの資源循環を加速し、循環型社会へ移行していくことを目的にプラスチック資源循環法が施行されたが第3次湖西市環境基本計画における廃棄物資源化目標について見直しはあるのか、湖西市の考えを伺う。</p>	

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

# 一 般 質 問 通 告 書

令和4年5月26日


前  
午9時56分 受付  
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和4年5月26日

湖西市議会議長 馬場 衛 様



湖西市議会議員 柴田 一雄   
(署名又は記名押印)

質問方式 (○を付ける)	一問一答 <input checked="" type="radio"/> 一括の質問答弁
番号	主 題
1	次の時代を担う若者世代のまちづくり参画について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	次の時代を担う若者世代のまちづくり参画について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>令和4年1月1日、湖西市は市制施行50周年を迎え、5月14日には「市制施行50周年記念式典」が挙行されました。</p> <p>記念すべき日を市議会議員として、まちづくりを担う一員として迎えられたことを嬉しく思うと共に、この素晴らしい湖西市を築いてこられた先人の方々への感謝と同時に次の時代に向けての責任の重さを噛み締めました。</p> <p>式典の冒頭では湖西高校三味線部、新居高校書道部による素晴らしいパフォーマンスが披露され、式典の終わりには市長を囲んでの「こさいの日」宣言において、次の50年に向けての人づくりまちづくりが宣言されました。</p> <p>まさに、20年先、50年先の持続可能なまちづくりは、現在の若者世代や高校生の世代が中心となり、担っていただかなければなりません。</p> <p>先進地の事例を挙げますと2014年から福井県鯖江市は地元の女子高生たちが中心となって、自由にアイデアを出し合い、さまざまな市民・団体や地元企業、大学、地域メディアなどと連携・協力しながら、自分たちのまちを楽しむ企画やまちづくりのアイデアを採用する「JK課」を設置、活動が続けられており、総務省の平成27年度ふるさとづくり大賞において、総務大臣賞を受賞しました。</p> <p>富山県南砺市は高校生に1千万円を託し、自由な発想で地域を盛り上げてもらうことで、若者が主体となってにぎわいを生み出し、郷土愛を高めることで将来的な定住人口の増加につなげる活動が昨年度より続けられています。</p> <p>当市に目を向けますと、私達、議会と致しましては実験的ではありますが、K S Lのメンバーを対象としたオンライン議会報告会の実施。</p> <p>また、高校生との意見交換会から3月定例会におきまして湖西高校生35名、新居高校生9名による「私たち高校生が湖西市に将来住みたいと思えるまちづくりに関する請願」を可決致しました。</p>	

また、最近では湖西高校3年生が選択授業「現代社会探求」で都市計画について学習され、生徒の皆さんの自発的な行動で鷺津駅周辺の活性化や利便性、安全性の観点から鷺津駅に北口を作る要望運動が始まり、J Rや湖西警察署への問い合わせによるデータ収集や近隣住民へのアンケートを基に署名活動も行われています。

(質問の目的)

20年先、50年先の持続可能なまちづくりを目指し、次の時代を担う若者の世代や高校生の世代のまちづくり参画について市の考えを確認します。

(質問事項)

1. 若者世代による、まちづくり参画における現状について伺います。
2. 高校生のまちづくりにおける関わりの現状について伺います。
3. 湖西高校生が中心となり、鷺津駅北口の設置を求める運動を行っていることについて市の考えを伺います。

※質問の要旨は具体的に記入すること



# 一 般 質 問 通 告 書

令和 4 年 5 月 26 日

前  
午 11 時 44 分 受付  
後

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和 4 年 5 月 26 日

湖西市議会議長 馬場 衛 様

湖西市議会議員 佐原佳美

(署名又は記名押印)



質問方式 (○を付ける)	<input checked="" type="radio"/> 一問一答 <input type="radio"/> 一括の質問答弁
番号	主 題
1	地方創生臨時交付金の「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分」の活用について
2	
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	地方創生臨時交付金の「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分」の活用について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>政府は4月26日、原油高騰対策と生活困窮者支援などを柱とする「総合緊急対策」を決定しました。6.2兆円の国費に民間資金も合わせた13.2兆円の事業規模で、「新型コロナウイルス感染症対応の地方創生臨時交付金」に1兆円の「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分」という新たな枠が創設されました。</p> <p>地方創生臨時交付金は、国の施策ではカバーし切れない、地方自治体の実情に応じた取組みの財源に充てる為のもので、国の施策と組み合わせながら活用できます。</p> <p>4月28日に内閣府より通知された静岡県への交付限度額は、108億8,592万円。県内市町に係る交付限度額の合算額は、106億5,883万1千円です。</p> <p>この臨時交付金を活用するには、湖西市の実情に応じた事業の実施計画を7月29日(受付2回目予定日)までに国に提出する必要があるため、また、何よりもコロナ禍の様々な状況や物価高騰で困窮している市民のためにスピード感を持って実施すべき事にてその使途、実施計画を確認したい。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>「地方創生臨時交付金」に盛り込まれた「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分」を幼稚園、保育園、こども園(以後、幼児教育機関という)と小中学校の給食費補助等にも充て市民の暮らしや事業者を守る手だてとして有効活用して欲しい。</p> <p>(質問事項)</p> <p>1. (学校給食の現状)</p> <p>新型コロナウイルス感染症の長期化等により食品価格が値上がりしています。また、2月末以降のウクライナ危機が重なり今後、更なる値上がりが懸念されます。そこで、幼児教育機関を含む学校給食(以後、学校給食という)の食材調達の現状と予算のバランス等、今後の見通しを伺います。</p>	

## 2. (地方創生臨時交付金の活用)

本年4月に内閣府より発出された文書「令和4年度における新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金の取扱について」の中において、「物価高騰に伴う学校給食等に関する負担軽減」という項目が追加されました。物価高騰による給食費値上げを抑える為、地方創生臨時交付金を活用できるとするものです。当市においても活用し学校給食費の値上げをすべきでないと考えますが、如何ですか。

## 3. (地域・地元産食材の活用)

今般の食材価格の高騰は輸入食材に頼る状況等に起因するものと思われま

す。

3-1 地元産の食材を学校給食に採用することによって、供給の安定化が図れるとともに、地域農漁業の振興や食育の観点からも有用と考えますが、現状と見解は如何ですか。

3-2 また、地元食材の活用は、市内の子ども食堂にも食材費の補助と共に検討しては如何ですか。

## 4. (新型コロナウイルス感染後や予防接種後の体調不良者相談窓口整備)

新型コロナウイルス罹患後の後遺症やワクチン接種後から体調不良が1カ月以上続いている(原因不明の腹痛や半身麻痺)、余病を発症して入院し働けなくなった等の相談を市民から受けており、市にも相談するよう伝えていますが、この交付金を活用し健康相談や生活困窮支援の一体的相談体制を整備するお考えは如何か。

## 5. (女性デジタル人材育成)

先に述べた、4月に内閣府より発出された文書の中に活用事例として「パソコン等を貸出しオンライン訓練を案内するなどして就労しやすい環境を整備す

る」とあります。

同じ4月、男女共同参画会議決定として発表された「女性デジタル人材育成プラン」は、デジタルスキルを身に付けた女性が経済的自立につながりやすいと女性の人材育成加速化を促しています。この事業の交付金と合わせ地方創生臨時交付金を活用して「女性デジタル人材育成」の取組を開始しては如何か。

#### 6. (予定している地方創生臨時交付金活用事業)

地方創生臨時交付金に追加された「コロナ禍における原油価格・物価高騰対応分」で現在、予定している事業は。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

# 一 般 質 問 通 告 書

令和4年 5月 26日

前

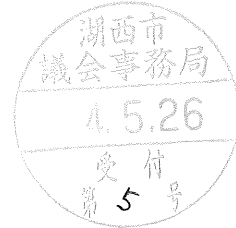
午  
後

4時30分 受付

下記のとおり質問いたしますから通告いたします。

令和 4 年 5 月 26 日

湖西市議会議長 馬場 衛 様



湖西市議会議員 神谷里枝



質問方式 (○を付ける)	一問一答・一括の質問答弁
番号	主 題
1	ごみ出しルールの変更について
2	鷺津校区における幼児教育・保育について
3	
4	
5	

※ 質問の要旨は別紙参照

番号	主 題
1	ごみ出しルールの変更について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>平成 22 年 10 月より浜松市へ委託していた可燃ごみの焼却ですが、費用対効果が得られないことなどから、平成 29 年度において「自前処理」と「委託継続」とを検討した結果、国の交付金を活用し、既存施設を有効活用した再稼働「自前処理」が最も効果的・合理的で、かつ、市民サービスの向上につながる方法との結論がごみ減量市民会議で示されたことに伴い、令和 2 年度には再稼働に向けた地元説明会の開催、自治会との協定の締結、令和 3 年 3 月定例会において、PFI 事業者との契約を締結し、令和 3 年度から令和 25 年度末までの長期包括運営委託を議決、昨年度の下半期から本格的な基幹的設備改良工事が開始されております。</p> <p>世界中で SDG s が謳われ、湖西市も昨年 7 月に「ゼロカーボンシティ」を宣言し 2050 年までに温室効果ガス排出量を実質ゼロとする取組も公表されました。</p> <p>そして今年 4 月 1 日より国において、使い捨て品を中心にプラ利用を削減し、再資源化を幅広く進める事を目的に「プラスチック資源循環促進法」が施行されました。これはストローやスプーン、歯ブラシ、くし、ハンガーなど 12 品目を「特定プラスチック使用製品」と定め、年間 5 トン以上を提供する事業者には対策が義務付けられました。あらゆる立場でのプラごみ削減・リサイクル推進が求められ、製造業者が自主回収する取り組みを推進するほか、自治体でも各家庭向けのプラスチック分別収集・リサイクルが「プラスチック新法」において求められております。</p> <p>この様な経緯の中、ごみ出しルールの見直しも検討され、焼却施設再稼働の後には、今まで資源物として分別収集されていたプラマーク品や白色トレイは、可燃ごみとして扱い、従来の資源物回収拠点を減らし、ごみステーションでペットボトルや缶、ビンなどの回収を行うなどしてリサイクル費用削減に取り組むとの事です。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>SDG s やゼロカーボンシティへの取り組みが模索されている中、環境センター焼却施設再稼働に伴う「資源物の分別回収方法の変更」が適正であることを確認することや、ごみ出しルール変更在先立ち、試行的に行われた結果の課題点への対応を始め、市民への周知不足によるトラブルなど、市民生活に影響が及ばないようにするため。</p> <p>(質問事項)</p>	

1. 燃やせるごみに剪定枝・竹・草・プラマーク品・白色トレイも含むことにより1世帯当たりの排出量が増える事が予想されるため、歩道や路側帯でネットをかぶせる箇所、また常にステーションにごみが出ている状況への配慮など、ごみステーションへの対応策を伺う。
2. 現在の指定ごみ袋は10枚1セットで、20ℓの小（100円）と30ℓの大（150円）で販売されているが、新たな指定袋の規格や今後処理手数料が必要となるごみの種類を伺う。
3. SDGs やゼロカーボンシティ宣言における環境負荷軽減にむけ、指定ごみ袋を植物由来のバイオマスごみ袋に変更することについてのお考えを伺う。
4. プラスチック新法において求められている「プラスチックの分別収集」についての湖西市の方針を伺う。

※ 質問の要旨は具体的に記入すること

番号	主 題
2	鷺津校区における幼児教育・保育について
質 問 の 要 旨	
<p>(質問しようとする背景や経緯)</p> <p>学校教育施設適正化検討委員会の報告が令和4年3月に公表されました。その中の幼稚園部会の平成27年度の報告によりますと、岡崎幼稚園と鷺津保育園、新居幼稚園のこども園化と、公立幼稚園を鷺津・岡崎・新居地区に各1園の3園とすることも考えられる、とあります。</p> <p>こうした中でまずは岡崎幼稚園と新居幼稚園のこども園化が実施されました。</p> <p>そして、鷺津地区には今年度より民間保育施設が2ヵ所開園し、鷺津保育園は今年4月より新規入園児なし、令和9年閉園となるなど、平成27年度の報告から状況が変わってきているため、鷺津幼稚園の今後の方向性を伺う。</p> <p>(質問の目的)</p> <p>保育の需要が高まってきている中、鷺津校区内における幼児教育・保育の方向性を確認する。</p> <p>(質問事項)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 鷺津幼稚園在籍園児数と今後の推計を伺う。</li> <li>2. 鷺津幼稚園の今後の方向性を伺う。</li> <li>3. 人間形成の大事な時期の教育・保育の質を高めるための取り組みや、各施設間の情報共有など、行政としての関わり方を伺う。</li> </ol>	